

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小39) 長崎市立(西浦上小)学校

1 教育目標

「夢もつ子～心豊かでたくましく、夢に向かって挑戦できる子どもの育成～」

2 学校経営方針

子どもたちが将来に夢や希望をもつことは、とても大切なことである。夢や希望は、人生を切り拓く原動力になるだけでなく、今後の生き方の方向性をも決定することがあるからである。ただし、ここで重要なのは「夢」は必ずしも具体的な将来像、例えば職業や職種、役割に限らなくとも良いということであろう。少しがんばったら叶いそうな身近な願いや実現できそうな小さな夢をもたせられることも良いのではないだろうか。「夢もつ子」とは、自分の言葉で自身の夢を語ることができる子どものことだと考えるが、その夢は成長する過程の中で変わっていくことも考えられる。だからこそ、子どもたちの夢に制限をかけたり、選択肢をせばめたりしないよう気を付けながら、指導や支援を全職員で行っていきたい。

校舎建て替え工事というピンチの中でも、上記の教育目標の具現化やめざす児童像・学校像を実現できるよう一致団結して取り組んでいきたい。

1 互いの違いを認め、一人一人を大切にする職員集団
2 和と話と輪で和気藹々な職員室
3 報告・連絡・相談で危機の未然防止と早期解決

3 重点目標

進んで学ぶ子の育成
素直で明るい子の育成
たくましい子の育成

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児 童 生 徒	保 護 者	教 職 員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している	87%	93%	79%	児童、保護者、教職員ともに高いものとなっている。
	学 校 の 雰 囲 気	明るく楽しい雰囲気である	80%	98%	100%	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100%	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			84%	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	79%	92%	47%	ルールやマナーに対しての保護者、児童と教職員との認識差は40ポイント以上ある。また、教職員の評価値も、生活・生徒指導の項目で他の項目と比べると著しく低くなっている。生活習慣との関連や保護者との意識に差があるものと考えられる。生活指導の充実はもちろんだが、家庭での生活についても見直してもらい機会を作っていきたい。
		挨拶をよくしている	74%	80%	53%	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	69%	67%	90%	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	87%	94%	100%	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	87%	89%	100%	
	人 権 教 育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	93%	96%	95%	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	89%	95%	100%	
	特 別 支 援 教 育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	90%	93%	95%	
確かな学力	特 色 あ る 学 校 づ く り	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	81%	89%	100%	概ね高い評価となっている。引き続きchromebookの活用を行い、個別最適な学びを進めるための授業実践を行う。また、生活科や総合的な学習の時間を通して、将来への職業選択や地域愛を育てていく。
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすい授業を行っている	90%	88%	100%	
		家庭学習の習慣が身に付いている	77%	81%	84%	
	キ ャ リ ア 教 育	将来の自立に向けて適切に指導している	68%	85%	95%	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	90%			

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	87%	89%	95%	校舎建て替えで、運動場使用の制限はあるが、工夫して取り組み、比較的高い数値を出している。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	73%	83%	84%	
		体力向上に努めている	84%	76%	95%	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	74%	78%	95%	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	88%	98%	100%	西浦上まつりやわくわくレクリエーション等の行事に多くの児童が参加し連携をしっかりと図れた。150周年記念式典に向けて、より一層連携を強めていきたい。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる		94%	100%	
	P T A ・ 地 域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている		97%	90%	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			95%	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	85%	78%	79%	仮校舎の中であつたため、多少の不便があつたが次年度からは、新校舎が完成によって教育環境の充実が充実できる。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			90%	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

全体的には、肯定的評価の高い項目が多く、「良好」という結果であつた。しかし、その中でも、①「心の教育」における「ルールやマナー」「あいさつ」といった児童の規範意識や社会性の教職員の評価は低いものとなつた。狭い校舎での過ごし方の難しさや、しっかり挨拶できる子とこちらから挨拶してもかえせない児童とがいることで評価が下がりがやすいなどの理由が考えられた。学校や地域での挨拶の様子を保護者とも共有し、粘り強く指導を続けていく必要がある。

保護者評価では、「あ・は・は運動」の認知度の低下がみられた。学校だよりや保護者配布物に提示、懇談会での紹介等を行い、さらに認知度を上げていく。体力関係や環境関係などは、次年度の新校舎完成によって劇的に改善できるであろうと思う。

地域等との関わりについては、ホームページ等での学校の取組を紹介することや、地域の人材を活用した学習を展開するなどして、地域とともに子どもの育成を図るようにしていく。

6 学校関係者評価

3月に学校評議員会を開催し、学校評価の報告と1年間の学校の様子の説明を行った。評議員の方からは、全体的に高い評価をいただいていることに対して、お褒めの言葉をいただいた。

- 子供たちの挨拶は、地域でもできている子とできない子がいると感じている。挨拶ができない子も何らかの理由があるのだろうと理解している。家庭に地域や学校での挨拶の様子を伝え、家庭教育の充実をお願いしたい。
- 仮設校舎での3年間の生活は、不便もあり子供たちや先生方の苦労は大変なものだったと思う。その中でも工夫して過ごせたことは大変良い経験になったのではないかなと思う。これからの学校生活に生かせると思う。
- 新校舎落成や150周年記念式典等に向けて、これからも地域の声も大切にしていきたい。学校に協力したい思いはあるので、地域とともに歩み続ける小学校であつて欲しい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

成果の出た取組は今後も継続し、課題の挙げた取組は改善をしたうえで実施していく。その積み重ねの中で、教育目標等の達成を目指し、全教職員で一致団結して以下3点に努める。

- 全体的に高い評価を得ているので、今後も子供たちの健やかな成長を目指し、学校教育目標の実現に向け職員一同で取り組んでいく。
- 「確かな学力」の領域では、更なる学力向上を目指して、ICTを活用した指導法の確立、『キュビナ』を活用し基本的な内容の定着、地域の特性を生かしたキャリア教育の充実を図りたい。
- 学校生活の様子や子供たちの体力向上に向けた取組を、学校ホームページ等で随時公表し、保護者や地域の声に応えるようにしていく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。